

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	堺優良従業員・堺技能功労者表彰				シート番号	015-030
担当部署名	産業振興	局	商工労働	部	雇用推進	課 評価責任者(課長名) 中嶋

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	4	産業を振興し、地域の持続的発展を支えます	後期実施計画の位置付け	
			施策	1	中小企業の経営基盤の強化	無	
	2	事業開始年度	平成 19 年度		終了(予定)年度	— 年度	
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)					
	4	関連計画	堺市産業振興アクションプラン				
5	事業実施の経緯	平成18年度以前、堺市は商工功労者表彰や商工従業者表彰等、堺商工会議所は会員事業所優良従業員表彰として、それぞれで表彰事業を実施していた。しかし、共催とすることにより対象となる業種・従業員を拡大でき、本市産業の発展のために貢献している優良従業員を広く顕彰できるというメリットから、平成19年度より堺市と堺商工会議所の共催事業として堺優良従業員表彰を開始したものである。 平成24年度より、優れた技能で、堺市の産業及び業界全体の振興・発展に貢献した方を対象とする技能功労者表彰を新設。					

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input checked="" type="checkbox"/> その他 (堺商工会議所)				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	堺商工会議所会員事業所並びに市内事業所及び団体等の従業員				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	優良従業員の表彰を行うことで、堺商工会議所会員事業所並びに堺市内の事業所及び団体における労使の協調をはかり、従業員の勤労意欲を振起させること。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	優良従業員表彰の表彰区分①永年表彰:勤続年数が10年以上にわたる従業員。②功労者表彰:勤続年数を問わず、特に功労があった従業員。③産業ルネサンス表彰:新商品・新サービスの開発、生産・環境分野での技術開発等、独創的なアイデアや新しい手法等を考案することで、地域経済の再生・発展に貢献したと認められる従業員またはグループ。 堺技能功労者表彰:同一の職に15年以上従事しており、技能の研鑽、後進の指導育成に努め、優れた技能をもって堺市の産業及び業界全体の振興・発展に貢献し、他の模範と認められる技能者。				
10	直接実施以外の主な支出先	堺商工会議所					

Ⅲ. 投入量

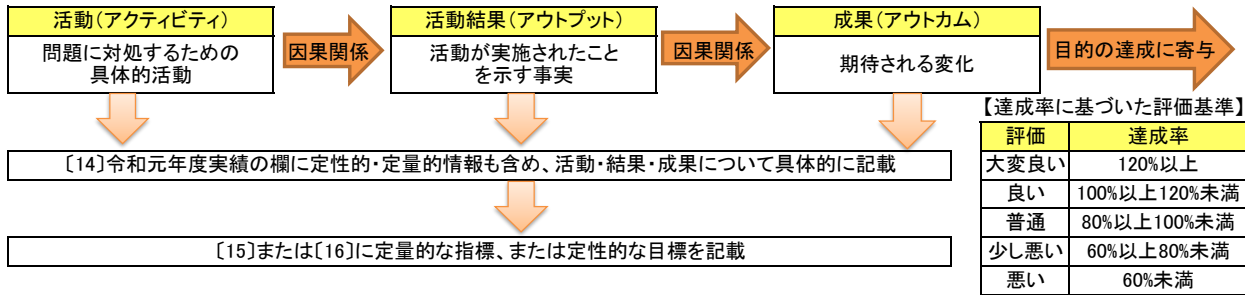
事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
11	事業費 (a)	千円	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
	主な事業費内訳	堺優良従業員・堺技能功労者表彰開催負担金	千円	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
			千円						
			千円						
			千円						
	財源内訳	国・府支出金	千円						
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円						
市債		千円							
	その他()	千円							
	一般財源	千円	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	
12	人件費 (b)	千円	1,230	1,230	820	820	810	810	1,640
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	2,430	2,430	2,020	2,020	2,010	2,010	2,840

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	堺優良従業員・堺技能功労者表彰	シート番号	015-030
-------	-----------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

		令和元年度実績						
活動実績と成果	14	堺優良従業員表彰及び堺技能功労者表彰の募集を6月から開始し、広報さかいや関係機関のメールマガジン等で事業の周知を行った。また、推薦書の様式を見直すなど、事務手続きの改善を行った。その結果、86団体より被表彰者の推薦があり、157人の表彰へとつながった。						
	15	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		堺優良従業員表彰及び堺技能功労者表彰において従業員を推薦した事業所・組合数	社	目標値	95	95	95	95
			実績値	84	84	86	86	
			達成率	88%	88%	91%	91%	
			評価	普通	普通	普通	普通	
	算出方法・設定根拠など		過去3年間の平均値を参考に設定					
	16	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		堺優良従業員表彰及び堺技能功労者表彰の被表彰者数	人	目標値	145	145	145	145
			実績値	140	141	157	157	
達成率			97%	97%	108%	108%		
評価			普通	普通	良い	良い		
算出方法・設定根拠など		過去3年間の平均値を参考に設定						

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	堺優良従業員表彰及び堺技能功労者表彰において従業員を推薦した事業所・組合数		社	84	84
	②	上記①にかかる年間経費		千円	2,430	2,020
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)		円/単位	28,929	24,048
	備考(算出についての説明等)					
18	①	堺優良従業員表彰及び堺技能功労者表彰の被表彰者数		人	140	141
	②	上記①にかかる年間経費		千円	2,430	2,020
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)		円/単位	17,357	14,326
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

		目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
19		<p>・堺優良従業員表彰及び堺技能功労者表彰における従業員を推薦した事業所・組合数については、目標を達成できなかったものの、2社増加した。達成できなかった要因として、表彰実施の意義を事業者理解してもらったことが課題となっていると考える。</p> <p>・堺優良従業員表彰及び堺技能功労者表彰の被表彰者数については、目標を達成することができた。</p> <p>・単位当たり経費については、表彰者数の増加に伴い低下傾向にあり、継続的に効率化が図れている。</p>

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	堺優良従業員・堺技能功労者表彰	シート番号	015-030
-------	-----------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 当事業は、従業員表彰を行うことで、堺市内の事業所等における労使の協調をはかり、従業員の功労や貢献を讃えることで、本人の仕事の励みやモチベーションの向上、組織のつながり・活性化等を期待するものであるため、廃止した場合、市内事業所等における従業員の勤労意欲の低下につながる恐れがある。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 当事業を休止した場合、従業員の勤労意欲の低下につながる恐れがある。 休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 既に、従業員表彰が必要となる経費等について、受益者たる企業に推薦登録料という形で一部負担を求めており、コスト縮減を図っている。加えて、共催の堺商工会議所は本市を超える費用を負担していることもあり、更なる縮減は困難である。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 感染症の感染拡大防止を図りながら、3密を避けるために、表彰式の会場の収容率を50%以内にしてソーシャルディスタンスをとる等、対策を実施する。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/>) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 (各種表彰事業) ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input checked="" type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ()	理由・説明 ・公民連携については、堺商工会議所と共催で実施することで、対象となる業種・従業員を拡大することができ、より広く本市の発展に貢献している優良従業員を顕彰できるようになっている。 ・他政令都市等との比較については、他の自治体においても同様の表彰が行われており、同様のサービス水準となっている。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
			所見 引き続き、様々な広報媒体の活用と関係機関との連携により、事業の周知に取り組んでいく。 また、推薦に係る申請様式を適宜、見直し、事業所が分かりやすい形にしていく。 表彰式については、会場の収容率を50%以内にするなど、感染症の感染拡大防止の対策について、検討していく。	